## 環境生活農林水産常任委員会活動評価総括表

## 1 委員会活動の振り返り(委員間討議の結果の概要を記載する)

- (1)年間活動計画の進捗度
  - ・県内県外を問わず現地に行くことは良いと思う。
  - ・県内調査については、常任委員会の所管する事項によって性質が異なるため、回数や日程について柔軟な対応が必要ではないか。特に環境農林は現場を見るべきである。委員が共通認識を持つことが大事である。
- (2)委員会運営の円滑度
  - ・適切に運営された。
- (3)議員間討議の充実度
  - ・賛否が分かれた時など案件によっては活発に行われた。
  - ・自然に議員間討議が行われて良かった。
- (4)県内調査の充実度
  - ・重点調査項目のうち、獣害対策については県内調査ができなかった。
  - ・県内調査は1泊2日で実施したが、もう1日欲しかった。
- (5) 県外調査の充実度
  - ・中身が濃く良かった。
  - ・視察先も適切だった。
- (8)施策への反映度
  - ・みえ県民力ビジョン・第二次行動計画では、意見に対して修正があり、反映された。
- (9)調査・審査への活用度
  - ・今年度の議員勉強会のテーマは当委員会ではあまり活用できなかった。

## 2 各委員(理事)の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	3.9
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	4.4

項目	評価の視点	平均点
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 「議案によってですが、充分活発に討議された。 議案によっては、積極的に行った。	3.6
(4)県内調査の充実度	県内調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) <b>当委員会の所管事項について、もう1日必要であった。</b>	4.4
(5)県外調査の充実度	県外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	4.4
(6)参考人招致の活用度 (参考人招致を行った場合のみ評価)	参考人の意見は調査・審査の参考となりましたか。 参考人から十分な調査を行うことが出来ましたか。 参考人招致における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	-
(7)公聴会の活用度 (公聴会を開催した場合のみ評価)	公聴会での意見は調査・審査の参考となりましたか。 公聴会では十分な調査を行うことが出来ましたか。 公聴会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	-
(8)施策への反映度	調査・審査の結果、特に重要な事項については執行部に経過報告を求めましたか。 執行部に経過報告を求めた事項について、その後の経過確認を行いましたか。 調査・審査の結果は執行部の施策等に反映されましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	3.5
(9)調査・審査への活用度	議員勉強会における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載))	3.9